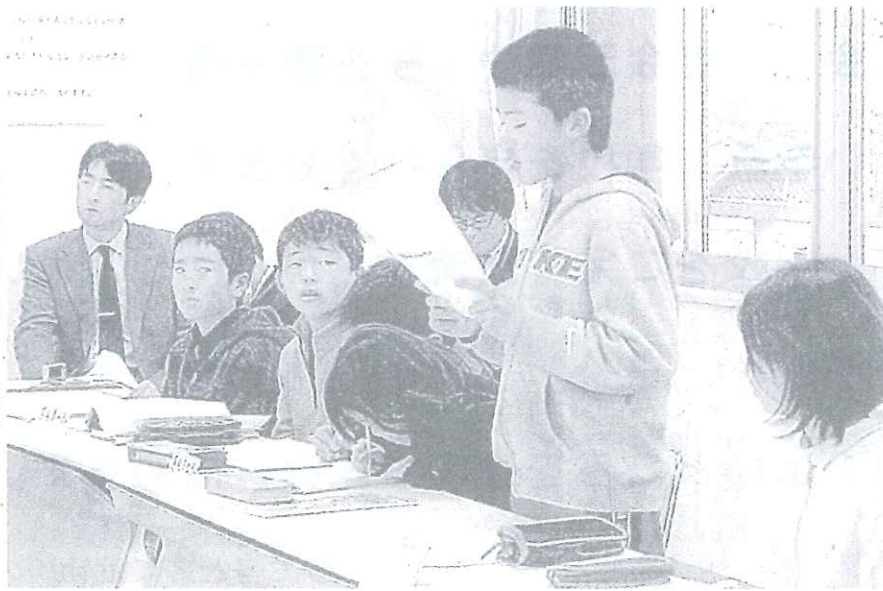


いじめ撲滅糸口探る

藤岡市内16校の小中学生

いじめの予防や再発防止を考える「いじめ問題解決に向けた子ども会議」（藤岡市教育委員会）が16日、同市教育庁舎で開かれた。市内全16の小中学校を代表する児童生徒32人が、いじめをなくす解決策の糸口を探った。

当事者の立場で会議



意見を発表する児童

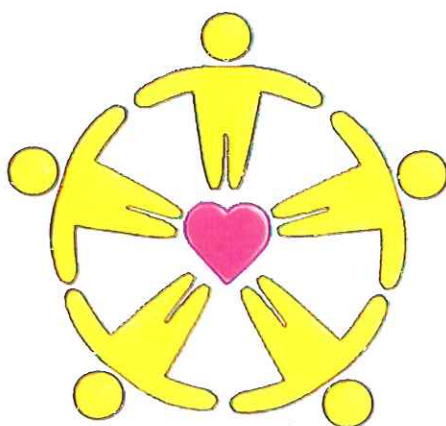
今年のテーマは「いじめ撲滅に向けて私たちにできることについて考えよう」。参加者は6班に分かれて「加害者」「被害者」「傍観者」の立場から考察し、意見を出し合った。

発表では①相手の立場を理解する②各自が重大さを認識する③強い心を持つ④その場で解決—などと指摘。司

会者役の生徒は「協議内容を各校へ持ち帰り、いじめ撲滅へ皆で訴えていこう」と力強く呼び掛けた。

会議は各校のいじめ防止の取り組みについて情報交換し、今後の活動の参考にするこ
とが狙いで、4年前から開催されている。毎年テーマを変更し、会議の司会や調整役を児童生徒が担当している。

第1回会議では「いじめをしないさせない許さない」とのいじめ撲滅宣言を制定している。



平成 23 年度
いじめ問題解決に向けた子ども会議報告書

発 行 日 平成 24 年 3 月 10 日

発行・編集 藤岡市教育委員会 学校教育課